

進路だより

—それぞれの夢に向かって—



微笑む進路 MUHS 進路指導部

第 5 号

13. 9. 17



本校生徒・保護者・本校を目指す中学生・保護者の皆様へ 進路だよりはイチゴの日

学校行事 (9/17 ~ 10/18)

9月17日(火)	月曜日の授業(6限) 1年類型希望調査〆切日
B週 19日(木)	合同職員会議
20日(金)	大掃除
21日(土)	3年実力テスト(校内・全員・駿台ベネッセ)
22日(日)	秋分の日
23日(月)	振替休日
A週 24日(火)	センター志願票 生徒→担任提出〆切日 2年(第3回)類型希望調査(30日〆切) 3年合同総合(視ホール) 2年合同HR(体育館2F) 1学年PTA(視ホール)
25日(水)	
26日(木)	センター志願票 担任→進路指導部提出〆切日 第2回防災避難訓練(45×7限)
28日(土)	授業日
29日(日)	3年外部模試(駿台・ハイレベル)
30日(月)	非行防止・安全教育講話(7、8限・体育館)
10月 2日(水)	センター試験発送予定日(大安) 2学年PTA(視ホール)
B週 3日(木)	高校職員会議
4日(金)	生徒会立合演説会(6限)
5日(土)	週休日
7日(月)	3年実力テスト(7、8限) 2年小論文模試(7、8限)
8日(火)	3年実力テスト(1~6限)
A週 9日(水)	生徒会各種委員会
10日(水)	中高教員相互授業公開
12日(土)	土曜授業日・授業公開
13日(日)	2年校外模試(希望者・駿台)
14日(月)	体育の日
B週 16日(水)	月曜日の授業 大掃除
17日(木)	合同職員会議
18日(金)	合同学校保健委員会 中間考査 21日(月)~23日(水)



【平成25年度のセンター試験の出願について】

※ 詳しい説明は、9月9日の3年生の合同HRで実施済。

現役生のセンター試験出願は、すべて学校一括出願になります。

9月9日（月） 3年合同総合「センター受験案内」（出願書類）配布



10日～23日 志願票の記入（**本人**が、黒か青のボールペンで記入）



検定料の払い込み（指定の銀行か郵便局 窓口振込!）

A T Mは使用できません

※ 日付印・住所の記入確認



24日（火） 「センター試験出願票」の提出（生徒→担任）

10月 1日（火） センター試験出願期間
～11日（金） ※ 学校で取りまとめて出願します。

担任へのセンター試験の志願票提出締切日は9月24日（火）になります。

志願票記入のチェック

- ※ 黒か青のボールペンで書かれていますか？
- ※ 市高のコードは11207Aです。
- ※ 性別・生年月日・電話番号・現住所の記入漏れや間違いは？
- ※ 受験教科数欄の記入漏れや科目数の間違いは？
- ※ 成績通知欄を希望する人 → +¥800になっていますか？
- ※ 払込金額は、申請額と一致していますか？
3教科で成績通知希望 → ¥18,800
- ※ 検定料受付証明書が貼り付けられていますか？
銀行・郵便局の受付印が押されていますか？
- ※ 受験特別措置申請 イヤホン不適合申請者の人は
申請する人は○をつける → 申請書を貼り付ける

※ イヤホン不適合者は志願票裏に貼り付けられているかを要確認。

【平成25年度指定校推薦の依頼について】

25年9月現在

首都大学東京	都市教養学部	都市教養学科法学系	1名
	システムデザイン学部	システムデザイン学科	
		経営システムデザインコース	1名
早稲田大学	文化構想学部		1名
	人間科学部	(学科指定なし)	2名
	商学部		1名
	基幹理工		2名
	創造理工	建築	1名
	先進理工	応用物理	1名

上記の他、立教大（コミ福2、法一政治1、文一史1）、明治（経営各学科1計2、商1、政経一政治1）、津田塾（学芸一英文1）、東京女子（現代教養2）、東京理科（2）、中央（4）、法政（8）、日本女子（2）、青山学院（5）等です。詳しくは、進路指導室まで問い合わせて下さい。

【志望校が決まったら学校の進路資料を活用しましょう】

指定校推薦が決まった人は、担任の先生からその大学の出願書類が渡されます。本校の場合は過去に先輩が進学している場合がほとんどです。先輩が過去に指定校の面接試験などを受験した報告書が進路指導室に保管されています。

どの大学も中間試験が終わる10月の下旬までに準備し11月上旬に出願します。小論文のテーマから面接のやり方まで先輩が詳しく書いています。その報告書を見て準備をしていきましょう。面接練習も必要です。計画的に回数を重ねることです。自分の受験が終わったら後輩達のために「報告書」を書いてください。指定校推薦は出願＝合格の場合がほとんどですが、試験当日に遅刻したり、面接で意欲が感じられなかったり、筆記試験の出来によっては不合格になる人も現実にはいます。合格通知が来るまでしっかりと勉強や対策を続けて下さい。また、入学後は、受験で合格した人と一緒に勉強することになります。推薦で合格後もセンター試験で3科目は受験してください。早稲田・明治・青山学院等入学前教育としてセンター3科目受験を義務づけているところもあります。また、学校の勉強も最後まで努力して下さい。その姿がクラスメイトを励ますことにもなります。さらに、3学期末の成績も提出させる大学もあります。

公募推薦・AO・自由選抜などの試験を受験する人も指定校推薦と同じく進路指導室で報告書を探してみましょう。公募推薦の人は指定校推薦の人よりも「志願理由書」の準備に力を入れなければなりません。中間試験が終わるとすぐに出願、試験となりますので、「志願理由書」の下書きを計画的に書くことです。

面接や小論文の練習も、並行して一般入試の受験勉強もです。今から弱音を吐いてはいられません。「自分で選んだ道」なのですから。当然**毎日の授業の予習復習**にも手を抜けませんよ！公募推薦ということでは県立大学を過去に目指した**先輩も皆通った道**なのです。公募推薦で不合格でも、多くの先輩が一般入試で（中には後期で）合格しています。「この大学に入りたい」という気持ちが大切です。

私立大学の入試について

私立大学の入試も、大別すると国公立大学と同じように一般入試と推薦入試、AO入試に分けられます。ここではまず、メインとなる「一般入試」の状況について確認していきましょう。

私立大学の一般入試では、国公立大学のように統一した入試日程は設定されていません。各大学が自由に入試日程、選抜方法を設定しています。また、国公立大学と違い、試験日が重ならなければ何校でも受験できるのも私立大学入試の特徴でしょう。この一般入試は、各大学で試験を実施する「一般方式」とセンター試験の成績を利用する「センター試験利用方式」に大別できます。私立大学の一般方式は、主にセンター試験が終わった1月下旬～2月中旬に行われます。

入試科目は大学によりさまざまですが、文系学部は英語・国語・地歴公民または数学から3教科、理系学部は英語・数学・理科の3教科を課すパターンが一般的です。また、大学・学部の特性に応じ、**入試科目や配点に特徴がある入試方式**を実施しているところも多く、これらを組み合わせて**1つの学部・学科で2つ以上の入試方式**をもつ大学も少なくありません。

代表的なものとしては、**入試科目を1～2科目としたり、特定科目の配点比率を高くする方式**があります。受験生から見れば科目を絞って勉強することができるうえ、得意科目を活かせる入試となっています。このほか、学科試験を課さずに小論文や論述試験で選抜する方式や、英語（英検、TOEIC等）や日商簿記などの資格取得者に点数を加点する方式なども見られます。ただし、方式ごとの募集人員は、3教科型入試の比率が高い大学が一般的です。**あくまでも3教科型入試の対策を基本**としたうえで、他の入試方式は自分に適した方式があれば上手に利用するとよいでしょう。

私立大学の一般方式に統一した入試日程はないとはいえ、2月上旬頃には志望校の試験日同士が重なってしまうこともよくあります。

このため、多くの大学が設定しているのが「試験日自由選択制」です。試験日を2日以上設定しておいて、受験生が都合のよい日を選んで受験できるようにしています。さらに、複数の試験日を受験することを認めている大学も多くあります。

また、受験生が受験しやすいように試験会場をキャンパスの所在地域以外に設置する大学も多くあります。全国の主要都市に会場を網羅している大学もあり、こういった大学では、直接大学まで行かなくても近隣で受験が可能です。交通費や宿泊費を節約できるだけでなく、時間的・体力的な負担も減らせるため受験生にとっては便利な制度といえます。

☆ **自分が受ける可能性がある大学の入試方式を確認しよう**